

インテリアピラーキャンドル「ANDON」

(株)小大黒屋商店（福井市）

平成24年度 ものづくり支援共同研究事業

問合せ担当者 清水竜朗



背景と経緯

(株)小大黒屋商店は、現代の生活に合わせたモダンな和ろうそくの開発を目指しましたが、従来和ろうそくを作るための木型は、木材調整に時間がかかるうえ、型製作職人の減少により価格が高いなどの課題がありました。そこで福井県工業技術センターとの共同研究制度を活用し、3DCAD や 3D プリントといったコンピュータ造形技術を用いて迅速・低コストな型製作を行いました。これにより、木型を使わずに、効率的な和ろうそくの新製品開発が可能となりました。またこの技術は、製品化後の改良においても、ユーザの声を効率的に反映させる事ができ、より高品質な製品展開につながります。

成果と製品化の状況

開発した新しい和ろうそくの、インテリアピラーキャンドル「ANDON」は、日本古来の灯りである行灯をモチーフにして開発しました。ろうそく上面の大きな窪のデザインは、多くの成形実験、燃焼実験が必要で敬遠されてきましたが、当技術を用いることで開発費を 1/10、開発期間を 1/3 に短縮することができました。着火時から和ろうそく特有の「炎の揺らぎ」がろうそく側壁を透かして灯ります。（平成24年9月より商品化）



開発した「ANDON」

3DCADによるデザイン設計